

(6)教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報

学部・研究科等	教育課程の編成方針／学位授与の方針
芸術学部	<p>【教育課程の編成方針】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 「本質を見ようとする姿勢、純粋な目」 主に教養講義科目を通じて、幅広く柔軟な視野と知的好奇心、健全な問題意識と批判的に物事の本質を見抜く力をつける。2. 「自己の確立と新しい価値の提起」 主に専門科目を通じて、より専門的で高度な知識と技術を学び、自己の確立をめざし、新しい価値観を社会に提起していく。3. 「想いを形にできる力」 学科ごとの演習を通じて、集中力をつけるとともに、発想・直観から形・イメージを創り上げ様々な媒体で表現する力をつける。4. 「人と社会との積極的協調・実践」 フィールドワーク・地域プロジェクトなどを通じて、愛を持って他者を理解し、様々な人と積極的に協調できる社会力を身につける。 <p>【学位授与の方針】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 「本質を見ようとする姿勢、純粋な目」 幅広く柔軟な視野と知的好奇心を身につけ、健全な問題意識と批判的に物事の本質を見抜くために必要な知識を修得している。2. 「自己の確立と新しい価値の提起」 専門的で高度な知識と技術を身につけ、新しい価値観を社会に提起していくことができる。3. 「想いを形にできる力」 発想・直観から創り上げた形・イメージを様々な媒体で表現する造形力、表現力を身につけている。4. 「人と社会との積極的協調・実践」 様々な人と積極的に協調できる社会力を身につけ、現代社会における諸問題を解決するためのフィールドワーク・地域プロジェクトなどを実践することができる。

デザイン工学部	<p>【教育課程の編成方針】</p> <p>1. 「本質を見ようとする姿勢、純粋な目」 主に教養講義科目を通じて、幅広く柔軟な視野と知的好奇心、健全な問題意識と批判的に物事の本質を見抜く力をつける。</p> <p>2. 「問題提起と解決への強い意志」 教養講義科目に加え専門講義科目では、より専門的で高度な知識や技術を学ぶことで、高い視点から物事を考える姿勢と、困難な問題を解決していくための強い意志を育む。</p> <p>3. 「想いを形にできる力」 主として学科ごとに設定する演習により、デザインの基本能力を修得する。基礎的な内容から実験的な試みまで、発想・直感から形・イメージを創り上げ、それを表現し伝えるための力を身につける。</p> <p>4. 「人と社会との積極的協調・実践」 いろいろな人と積極的に協調できる人、異論・反論の中でもお互いの価値観を共有できる人間力を身につけるために、産業界と連携した演習や地場を作る。地域プロジェクト、展示会など学外と積極的に交流・協働する。</p> <p>【学位授与の方針】</p> <p>1. 「本質を見ようとする姿勢、純粋な目」 社会人として必要な知的好奇心と健全な問題意識に基づき、現代社会に存在する様々な課題を発見することができる。</p> <p>2. 「問題提起と解決への強い意志」 専門的で高度な知識や技術を身につけ、幅広く多様な視点から物事を考える姿勢を持ち、自ら発見した困難な問題を解決していくための強い意志を身につけている。</p> <p>3. 「想いを形にできる力」 デザインに関する基本能力を修得し、発想・直感から形・イメージを創り上げ、それを表現し伝えることができる。</p> <p>4. 「人と社会との積極的協調・実践」 多様な価値感を持つ人と強調できる人間力を身につけ、地域や産業界と連携したプロジェクト、展示会などを実践できる。</p>
---------	--

<p>芸術工学研究科芸術工学専攻</p>	<p>【教育課程の編成方針】</p> <p>芸術によって育まれた感性と良心を基礎とし、自立した専門家として、未来の創造を先導する人材の育成を目指す。社会に一石を投じるような独創的な研究や制作を展開するための高度な能力を養成するとともに、グローバル社会に貢献するためのコミュニケーション能力、社会の変革を先導する指導力を育成する。</p> <p>【学位授与の方針】</p> <p>自立した専門家として、独創的な研究や制作を展開するための高度な能力が十分に開発され、グローバル社会に貢献するためのコミュニケーション能力を習得し、社会の変革を先導する指導力が身につけていること。</p>
<p>芸術工学研究科芸術文化専攻</p>	<p>【教育課程の編成方針】</p> <p>本専攻は、国内外における多様な研究を社会に還元する機会をもち、社会の発展や平和、福祉に寄与する芸術文化を開拓できる専門家を育成する。そのための教育方針をつぎのように定める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グローバルな視野を持って世界の平和を願い、人間と芸術との関係の本質を見据え、次世代の専門家を育成する。(時代を見据える眼) 2. 芸術文化の歴史的推移を理解し、科学的な見識をも身につけ、積極的で永続的な研究を推進する。(積極的な研究心) 3. 国際的な交流やワークショップ、先端的な技術などの体得を推進し、制作研究、文献研究において高度な専門性を目指す。(専門知識と技能の進化) 4. 東北の地に生まれた文化や資源に精通し、学内にある諸研究センターとの連携プロジェクトなどを通して地域との交流を実践する。(社会への参加、実践) <p>【学位授与の方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. グローバルな視野を持って世界の平和を願い、人間と芸術との関係の本質を見据える眼力を自得していること。 2. 芸術文化の歴史的推移を理解し、科学的な見識をも身につけ、積極的で永続的な研究を推進する能力を習得していること。 3. 国際的な交流やワークショップを経験し、先端的な技術なども体得し、高度な専門知識と技術を習得していること。 4. 東北の地に生まれた文化や資源に精通し、地域との交流を実践できること。

<p>芸術工学研究科デザイン工学専攻</p>	<p>【教育課程の編成方針】</p> <p>人類社会の平和、環境との調和、持続的発展など世界が直面している課題に、デザインの立場から応えられる多様な専門家、研究者を育成する。そのための教育方針をつぎのように定める。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域におけるデザイン活動と研究の実践を通じて、世界が直面している課題解決を志す姿勢と、デザインによって豊かな未来を創造するという使命感を涵養する。(志士、常に倫理観、良心を基調としたデザインの哲学を追求しながら、高度な専門知識を習得し、多面的に物事を思考し総合化する能力を養い、デザイン力(企画力、構成力、表現力)を大成させる。(デザイン力) 2. 学内の諸研究センターとの共同研究プログラムへの参加、企業や外部研究機関への学外派遣、特定地域の住民、市民団体などと連携したプロジェクトの遂行を積極的に推進し、第一線のデザインや研究の現場における実践教育を重んじる。(実践力) 3. グローバル社会で活躍する専門家の育成を目指し、外国語によるコミュニケーション能力、文化の多様性を理解・尊重できる広い心、変革のリーダーシップを発揮できる統率力を育成する。(社会力)
	<p>【学位授与の方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域におけるデザイン活動と研究の実践を踏まえ、世界が直面している課題解決を志す姿勢が育まれ、デザインによって豊かな未来を創造するという使命感を自得していること。 2. 倫理観、良心を基調としたデザインの哲学を理解し、高度な専門知識と、多面的に物事を思考し総合化する能力、デザイン力(企画力、構成力、表現力)を習得していること。 3. デザインや研究の現場で通用する一定の実践力が身についていること。 4. グローバル社会で活躍する専門家として、外国語によるコミュニケーション能力を習得し、文化の多様性を理解・尊重できる広い心、変革のリーダーシップを発揮できる統率力が身についていること。